令和8年度　ライクホームはるか　事業計画

伝わる力と受け取る力

私たちは常に学び続ける立場にあります。
そのために今年度は「伝える工夫」と「受け取る工夫」を磨く一年とします。

目標：みんなで良くなっていこう
～判断を言葉にできるホームへ～

◎7つのポイントについて3ヵ年計画で取り組む（2025-2027）

R7	① 食 「笑顔になる食事」 ② 整える 「整理・整頓・掃除・清潔・しつけ」 ③ 常に衣服は清潔で体に合い、季節に合ったものが着用できるようにする	令和8年度も引き続き暮らしを整え、改善する ・衣食住を大切にし続ける ・マンダラチャートを活用した毎月のチェック、ブラッシュアップ
R8	④ 自立支援計画に沿ってこどもを支援する ⑤ 分かりやすい言葉で丁寧に説明する（権利擁護）	自立支援と権利擁護は、判断を言葉にできてこそ実現します
R9	⑥ 報連相は、事実と判断を明確に共有する ⑦ 職員は、学ぶ・調べる・知識を増やす	業務改善、危機管理をすすめ、 次年度に向けた準備をする

・みんなが良くなっていく過程には失敗も伴います。私たちは失敗を責めるのではなく、次の行動を共に考えます
・ホーム会議を“決める場”にするため、議題の明確化と振り返りをします
・ホーム職員とホームリーダーが共に、こどもの生活を支えてきました。今年は、職員一人ひとりが役割を考え、引き受け、判断を言葉にしながら、支え合いの循環を作ります



この2枚のイラストは、
「自分から見える文字」と
「相手から見える文字」の違いを示しています。
伝える側が、相手に読みやすい形を考えて書く。
その工夫があるからこそ、相手は受け取ることができます。伝える力と受け取る力は、相手への配慮によってつながります。

心小思